

## 目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

# SEA

いわき経済同友会  
IWAKI

10月号／2018年10月1日発行

## 3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

9月18日(月)  
18:15～

## 9月通常例会

会 場  
いわきワシントンホテル椿山荘



### 第1部 いわき桜ロータリークラブ様による紙芝居『東洋の製薬王 星一物語』

星一（ほしはじめ、1873年（明治6年）12月25日－1951年（昭和26年）1月19日）は、福島県いわき市出身の実業家・政治家。子供の頃、いたずらで放たれた矢が右目に突き刺さり失明。それ以後は義眼を入れていた。

1894年（明治27年）東京商業大学（現・東京学園高校）を卒業。高橋健三らの知遇を得る。10月、横浜からアメリカのサンフランシスコへ渡る。

1896年（明治29年）コロンビア大学に入学。1901年

（明治34年）コロンビア大学を卒業。修士号取得。アメリカ帰りの星一は、1910年星製薬を創業。

それまでは輸入に頼っていた、外科手術に不可欠なモルヒネの国産化に成功する等、「東洋の製薬王」と呼ばれた。星製薬はチェーンストアという販売方式を日本で初めて確立した。野口英世やフリッツ・ハーバーのパトロンとしても知られる。また、星薬科大学を創立した。



## 第2部 講演『いわきの偉人「東洋の製薬王 星一」に学ぶ』

演者 星一プロジェクト実行委員会事務局長

いわき市議会議員 小野 潤三 様

### 0. 本日のテーマ

星一、星新一を「地域資源」としてどう捉えるか。

### 1. 星一プロジェクトのこれまで

・2008年12月14日、いわきフラオンプクの企画で小名浜のまち歩き

：鎌田哲男氏が参加～ドイツ政府に働きかけるきっかけに。

・2010年4月24日、記念碑除幕式

・震災後、広島の被災地支援プロジェクトで紙芝居寄贈。

→いわき桜ロータリークラブなどで上演。

・2015年5月24日、いわき駅北口にイラスト設置  
(いわき桜ロータリークラブ)

・2015年、草野心平記念文学館で「星新一・星一展」開催。

・2017年7月3日、東京福島県人会で講演

→市長に要望

### 2. 星一という人

・いわき市錦町出身。星学園・星昭光氏の親戚。

・子供のころから破天荒。果敢な挑戦力。

・アントレプレナーとして（星製薬。東洋の製薬王）

・教育者として（星薬科大学）

・親切第一

親切第一を主義として、自己に親切なれ、何人にも親切なれ、

物品に親切なれ、時間に親切なれ、学問に親切なれ、  
金銭に親切なれ、

親切は平和なり、繁栄なり、進歩、発明、向上なり、  
親切の前には敵なし、親切は世界を征服す

・政治家として（選挙大学）

・国際人として（アメリカ留学、ペルーへの夢）

### 3. 星新一という人

・ショートショートの神様

・代表作「ボッコちゃん」「おーいでてこーい」

・今も生きる星新一

●NHK「星新一ショートショート」

●日本経済新聞社「星新一賞」

### 4. 「星一」の未来への可能性

・「星一賞」～起業家育成

・「親切第一」復刊～地域の教育理念に

・「選挙大学」～主権者教育（選挙教育）の教材として

・NHK大河ドラマに～「野口英世と星一」

・星一・星新一記念館

ドイツ政府からの記念碑除幕式



草野心平記念文学館「星新一・星一展」



いわき桜ロータリークラブによる看板設置





# 9月グループ会報告

## 第2グループ会

■日 時 9月6日(木曜日) 15:00～  
■場 所 文化センター4階会議室

内容 デジタルマーケティングセミナー  
売上アップのためのマーケティングの基礎とコスト消費の  
トレンドを学ぶ

いわき観光まちづくりビューローとの共済で開催。計  
3回のセミナーであり、今回はその第一回目。

講師 アソビュー執行役員 宮本武尊様

アソビューは、日本最大の体験プラン予約サイトを運  
営する会社代表の山野社長は熱意あるベンチャー連合も  
主催し、日本を代表する起業家ITの急激な発達でマー  
ケティングの手法も大きく変わっている。個々人の嗜好  
をデータ収集し、それに合わせた広告戦略を打つのが  
容易になっている。

## 第3グループ会

■日 時 9月1日(土曜日)  
■場 所 関ヶ原山荘

この日は、土曜日ということもあり大勢の人が参加され  
ていました。

例年通り、いわきFCの選手、監督たちから「火渡り行」  
渡っていました。来年は日曜日開催になります。多くの人  
に参加して頂ければと思います。

## 第4グループ会

■日 時 9月29日(土曜日)  
■場 所 茨城県鹿嶋市方面

第7回(9月度)

茨城県鹿嶋市方面の文化財を訪ねる。

鹿嶋町は鹿島神宮を核とする神の住むまち、歴史と伝  
統のある文化財や森と湖を有する豊かな自然に触れ古代  
から息づく心のふるさとです。

1. ボランティアの方にお願ひし、鹿島神宮の大鳥居を抜  
け「楼門」「拝殿」奥参道を通り、さざれ石や「奥宮」「要石」  
などをお参りと研修をしました。

2. 地元の錦水は、フワフワのうなぎが最高、美味しい鰻  
料理を味わいました。

3. 鹿島神宮への奉納酒である愛友酒造を見学しました。  
文化文政年間に酒造りを始めた歴史ある造り酒屋。八代  
目当主 兼平 理香子氏に蔵のご案内を頂きました。美  
味しいお酒です。

4. 香取神宮は三社巡りの二社目。総門、楼門を抜け本  
殿へお参りしました。香取神宮は、初代神武天皇の御代に  
創建されたと云われています。昭和52年に国の重要文  
化財に指定されました。

5. 道の駅水の郷さわらは利根川沿いにある道と水の駅  
です。地元産で安全・安心・安価なお米、野菜、果物を始め、  
お弁当やお土産が山のように豊富です。

# 11月創立記念例会開催 11月13日(火)

欧米では、スポーツ産業が飛躍的に伸び、日本でも各地にスタジアムやボールパークが建設され、隣接する商業施設での飲  
食、観光といった付帯産業も含め、経済効果は拡大している現状があります。

いわき市でもスポーツの産業化を見据え、大型スタジアムの建設とその経済効果に関する模索が始まっています。先進地域の  
スポーツ産業化の例を客観性のある講演を通して学び、地域がどの様になるかを学ぶことが大切だと思います。又、  
広くその内容を周知出来る手法として公開性をもった公開講演例会としたいと思います。

講演：『いわきのポテンシャルを生かしたスポーツ産業(革命)とは』(仮) 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野 義之様

会 場 パレスいわや 会 費 5,000円 18:00～ 例 会 20:15～ 懇親会  
18:30～ 講 演

## FMいわき「いわき経済同友会だより」

【11月予定放送】

・11月5日 副代表幹事 田村 哲朗 様  
・11月12日 副代表幹事 長谷川祐一 様

・11月19日 常任理事 寺主 君男 様  
・11月26日 常任理事 松崎総一郎 様

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、  
17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。

<http://www.simulradio.jp/>

◇毎週月曜日17時45分からです。(約5分間)

いわき経済同友会  
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。  
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F  
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211  
<http://www.seaiwaki.jp>  
E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発 行 いわき経済同友会 安島 浩代表幹事  
編 集 情報委員会 委員長 坂本和久  
副委員長/常葉修一・波多野和茂・松尾幸治  
四ッ倉隆裕・山中荘士郎